**2023年度春季シンポジウム「持続可能な社会の実現に向けて」**

**～廃棄物処理コスト増大の要因と削減の方策～**

**オンライン配信のご案内**

廃棄物処理の目的は生活環境の保全と公衆衛生の向上であり、廃棄物を収集、リサイクルや焼却などの中間処理と最終処分を市民の協力を得て自治体の財政負担で進めてきた。

しかし少子高齢化、都市部への人口集中、過疎化による一層の人口減少による施設の稼働率の低下を招き、老朽化した廃棄物処理施設の維持管理・更新コストの増大、自然災害の大規模化などから、廃棄物行政を取り巻く社会情勢が大きく変化している。また直近では、原材料費の高騰、物価高、人件費の上昇など、新規廃棄物処理施設建設への価格転嫁により、ごみ処理コストの増大が予測される。このように、ごみ処理コスト増大には様々な要因があり、その取り組み方も様々である。

本シンポジウムでは、廃棄物の処理コスト増大の要因と削減の方策について考えてみたい。

1. **開催日時：2023（令和5）年6月30日（金）14：00～17：00**

※6月30日開催当日の視聴が出来ない方は、**オン・デマンドサービスにて7月１日以降7月末まで何時でも何回でも視聴可能です。**

1. 開催方法：無観客開催、オンライン中継配信

※参加には事前登録が必要です。参加者は視聴と資料のダウンロードが出来ます。

1. 定員：300名　（配信拠点数制限で、定員になり次第締め切らせていただきます。）
2. **事前登録申込締切：6月2８日(水)**
3. 主催：㈱廃棄物工学研究所
4. 後援：環境省
5. 協賛：(公財)廃棄物・3R研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、 (一社)環境衛生施設維持管理業協会
6. 協力：(一財)日本環境衛生センター、(公社)全国産業資源循環連合会、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(一社)プラスチック循環利用協会、(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)廃棄物資源循環学会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本産業機械工業会、(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、有害・医療廃棄物研究会、産業廃棄物処理業経営塾OB会、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム
7. **事前登録費：上記協賛協力団体の会員：6,000円、非会員：12,000円、自治体職員：4,000円、学生：2,000円**
8. プログラム

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 講　演　内　容 | 講　演　者 |
| 14:00～14:15  15分 | オープニング・スピーチ  シンポジウムの企画の背景 | ㈱廃棄物工学研究所代表　　田中勝 |
| 14:15 ～14:55  40分 | 基調講演:効率的なごみ処理を目指した広域化、 集約化など廃棄物分野の重点施策 | 環境省　環境再生・資源循環局  廃棄物適正処理推進課・課長　筒井誠二 氏 |
| 14:55～15:25  30分 | 地方行政解説:大阪広域環境施設組合の広域化による効率的な廃棄物処理への取り組み | 大阪広域環境施設組合施設部・部長  金子正利 氏 |
| 15:25～15:35 | 休憩 |  |
| 15:35～16:00  25分 | 技術解説:北欧の廃棄物処理における資源循環・ 脱炭素への対応～実態調査報告 | 日本環境衛生施設工業会技術委員会  副委員長　横山唯史 氏 |
| 16:00～16:40  40分 | 特別講演:効率的な廃棄物処理に必要な変革 | 国立環境研究所資源循環領域・領域長　大迫政浩 氏 |
| 16:40～17:00  20分 | クロージング・リマーク | ㈱廃棄物工学研究所代表　　田中勝 |

**事前登録のお申し込みは、申込用紙にご記入の上、メール添付にて  
運営事務局[** [**info@riswme.co.jp**](mailto:info@riswme.co.jp) **]まで送りください。**

**お問合せ先：運営事務局　㈱廃棄物工学研究所（担当： 石井）　Tel/Fax　086-239–5303**

**※事前登録の申込用紙は、㈱廃棄物工学研究所ホームページ(**[**http://www.riswme.co.jp**](http://www.riswme.co.jp)**)からダウンロードいただけます。**